



「生きる」はもっと素直でいい

八ヶ岳JOMONライフフェスティバル オープニングセレモニー

9月9日、「生きる」をテーマとした3年に一度のフェスティバル「第0回八ヶ岳JOMONライフフェスティバル」が始まりました。午前中のオープニングセレモニーは、長峰中学校の生徒さん2名の司会のもと、与助尾根遺跡で開会宣言とバルーンリリースを行い、会場を移動して館内では国内外で活躍するアーティスト、後藤映則さんが手がけたシンボルオブジェを公開し、訪れた方々が熱心に見入っていました。

また午後にはキュレーター・作家として活躍する原田マハさんの記念講演会を開催し、「生きるほくら茅野に暮らすしあわせ」と題し、茅野市での暮らしや米づくりを通じた生きることに對する思いを語っていただきました。



↑尖石縄文考古館で公開した光のオブジェ。3Dプリンタで作られた縄文のビーナスに光が当たると、四肢と腹部に胎児の姿が浮かび上がります。



↑茅野市民館コンサートホールで行ったオープニング記念講演会には多くの方が訪れ、定員300人の会場は満席となりました。



さわやかな高原の中を駆け抜ける

第11回八ヶ岳縄文の里マラソン大会

9月10日、尖石縄文考古館を発着点に、八ヶ岳縄文の里マラソン大会を開催しました。晴れやかな晴天の中、全国から集まったランナーが力走しました。ここ数年参加者が1,000名を割っていましたが、今年は1,199名がエントリーしました。2km～ハーフマラソン(21.0975km)まで5種目に分かれ、それぞれ自分の思い描くレースを展開していました。



↓10月4日に北横岳で行った合同パトロールの様子です。



山をきれいに！

茅野市グリーンパートナー合同パトロール実施

茅野市グリーンパートナーによる合同パトロールを8月23日に蓼科山、10月4日に北横岳で実施しました。

茅野市グリーンパートナーは、市内の八ヶ岳中信高原国定公園において、登山の際にごみを拾うなどの環境美化活動や、登山道、案内板などの安全確認のため平成17年から巡視活動を実施していただいております、合同パトロールは年2回行っています。

↓絵本、漫画、小説、専門書などが幅広く集まった。



古本とカフェで元気を生み出したい！

茅野市ぼくらの未来プロジェクト 古本カフェ

9月3日、茅野市ひと・まちプラザで古本カフェが開催されました。「茅野市ぼくらの未来プロジェクト」の中高生が企画し、6月のこどもまつりから古本の回収を始め、約3,400冊の古本が集まりました。またカフェの構想にも知恵を絞り、寒天寄せを作って振る舞ったり、地元のパン屋などに協力してもらったりして、約300人の来場者は古本とカフェの組み合わせに満足しているようでした。

↓8月30日に実証実験についての記者会見を行いました。



八ヶ岳を世界一安全な山に

ソニーのLPWA通信技術を活用した八ヶ岳登山者位置情報把握システムの実証実験開始

茅野市は八ヶ岳の安全・安心な登山ができるエリアを目指して、ソニー株式会社とソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社が独自開発したLPWAの通信技術を活用した、登山者の位置情報を把握するための実証実験を開始しました。

LPWAは「低消費電力・広範囲」を特徴とする無線通信技術の総称。実験では、GPSを搭載したLPWAの送信機を登山者が携帯し、登山者の位置情報を市役所に設置した受信機で広域的に把握できるかを調査します。

↓協定書を手にするあいおいニッセイ同和損害保険(株)松本支店の光田支店長と市長。



地方創生で包括連携協定を締結

茅野市・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との包括連携協定書締結式

9月5日、茅野市はあいおいニッセイ同和損害保険株式会社と地方創生に関する包括連携協定を締結しました。同社は全国で「地方創生プロジェクト」を展開しており、今後は災害時の事業継続計画作成に向けたマニュアル提供やセミナー講師の派遣、車の安全運転適正診断機器の貸し出し等を通じ、市民の安全・安心、観光振興の取り組みに協力いただきます。